

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

雪化粧の牛久駅西口

昭和59年1月撮影
うしく写真クラブ「みち」提供



大雪の日に撮影された橋上駅舎工事途中の牛久駅西口の写真です。足元を気にしながら歩いていて人と停車中のバスが写っています。駅周辺を再開発する前なので、西口前にまだ商店や飲食店が建ち並んでいます。

た昭和59年1月中旬は、東京でも22cmの積雪を観測するなど、関東各地で20cm前後の雪が積もりました。昭和58年12月から昭和59年3月にかけて日本列島を幾度も襲った記録的豪雪は、五九豪雪と呼ばれています。



明治・大正・昭和の

「昔のうしく」の写真を募集しています。

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

第12回

アオキ



緑の中で輝く赤い実(奥原の林縁)
平成6年3月11日撮影

アオキは日本の固有種で暖温帯林の中に自生する常緑広葉樹の低木(2m前後)です。県内に広く分布し、市内では斜面林の下層などに生育しています。アオキの和名は黒みを帯びた緑色の葉(長さ8〜20cm、光沢あり)に由来

しますが、若い枝も緑色をしており、まさに青木といえます。春の花は小さく地味ですが、秋から冬にかけての赤い実はつややかに輝いています。ヒヨドリなどの野鳥の大好物です。雌雄異株。日陰でも育ち手入れもしやすく、年中青々としているので庭木として人気があります。斑入りの葉など多くの園芸品種が生まれ、ヨーロッパでも広く見られます。 ※牛久の里山樹木ハンドブック56ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。 【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ(文章:羽賀正雄、写真:渡辺泰)

文芸さろん | 師走 |

寒くなりどん汁かこみ顔ほころぶ
布団ほしお日さまにほふ寝床かな
公園の大木散りて青き空
名残り日を肌映してつるし柿
たおやかなる様あかずなかわる
高橋さん
施設への車窓に見える景色こそ
わが生活の一部となりぬ
井上さん



◀竹内さん

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512
E-mail: shimin@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)